

ご使用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

<水虫・たむし用薬> マイルゾンBT液

水虫・たむしは、皮膚の角質層内に水虫菌（白癬菌）が寄生して起こり、特有の激しいかゆみと炎症を伴う疾患です。

マイルゾンBT液には 8 種類の有効成分を配合。1 日 1 回の使用により、かゆみや痛みを伴う（水虫・たむし）不快な症状を改善します。本品は液体のため、乾燥（カサカサ）タイプの患部にお勧めです。



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。）

1. 次の人は使用しないでください。

本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ、浮腫等）を起こしたことがある人

2. 次の部位には使用しないでください。

(1)目や目の周囲、粘膜（例えば、口腔、鼻腔、膣等）、陰のう、外陰部等

(2)湿疹

(3)湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

(1)医師の治療を受けている人

(2)妊婦又は妊娠していると思われる人

(3)乳幼児

(4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

(5)患部が顔面又は広範囲の人

(6)患部が化膿している人

(7)「湿疹」か「みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人（陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い。）

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、刺激感、熱感、落屑（フケ、アカのような皮膚のはがれ）、ただれ、水疱、乾燥感、ヒリヒリ感、亀裂

3. 2週間位使用しても症状がよくなりない場合や、本剤の使用により症状が悪化した場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし

用法・用量

1日1回、適量を患部に塗布してください。

<用法・用量に関連する注意>

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)患部やその周囲が汚れたまま使用しないでください。
- (3)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。
- (4)本剤のついた手で、目や粘膜にふれないでください。
- (5)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (6)外用にのみ使用してください。

成分・分量 (100mL中)

成分	分量	はたらき
ブテナフィン塩酸塩	1.0g	水虫菌(白癬菌)に優れた殺真菌作用を示します。
リドカイン	2.0g	局所麻酔作用により痛み、かゆみを抑えます。
グリチルレチン酸	0.5g	患部の炎症を抑えます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.5g	抗ヒスタミン作用により、かゆみを抑えます。
dl-カンフル	1.0g	清涼感を与え、かゆみを鎮めます。
l-メントール	1.0g	
クロタミトン	5.0g	かゆみを鎮めます。
イソプロピルメチルフェノール	0.3g	殺菌作用により、患部の感染を防ぎます。

添加剤：プロピレングリコール、ラウロマクロゴール、リン酸、クエン酸ナトリウム水和物、エタノール 含有

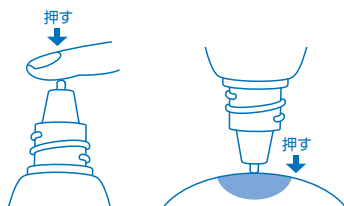
<成分に関連する注意>

アルコールを含んでいるので、塗布時にしみる場合があります。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して立てて保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)火気に近づけたり、火の中に入れたりしないでください。また、使用済みの容器は火中に投じないでください。
- (5)合成樹脂(スチロール等)を軟化したり、塗料を溶かしたりすることがありますので、バッグや床、家具などにつかないようにしてください。
- (6)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は品質保持の点からなるべく早く使用してください。

<液容器の使用方法>



- 使用前に、容器の先端を上に向けて、手の指で押して中の空気を抜いてください。
(暑い時期には内圧が高まり、薬液が多くなることがありますので、これを防ぐためです。)
- 患部に使用する時は容器を下向き又は斜めにして、患部に先端を軽く押しあてて塗布してください。
(先端を患部からはなすと、薬液がでなくなります。)

<水虫治療のポイント>

- 患部を清潔にしましょう。靴下や靴等も清潔なものを使用しましょう。
- 水虫菌(白癬菌)は、症状のある範囲より広がっていることが多いため、薬剤は広めに塗布しましょう。
- かゆみ等がなくなっても、完治していない場合があるため、根気よく治療を続けましょう。
- 患部がむれないように十分に乾燥させましょう。

お問い合わせ先
株式会社 富士薬品 (学術室)
電話 (048) 648-1118
9:00~17:30 (土、日、祝日を除く)

製造販売元

株式会社富士薬品
埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地